



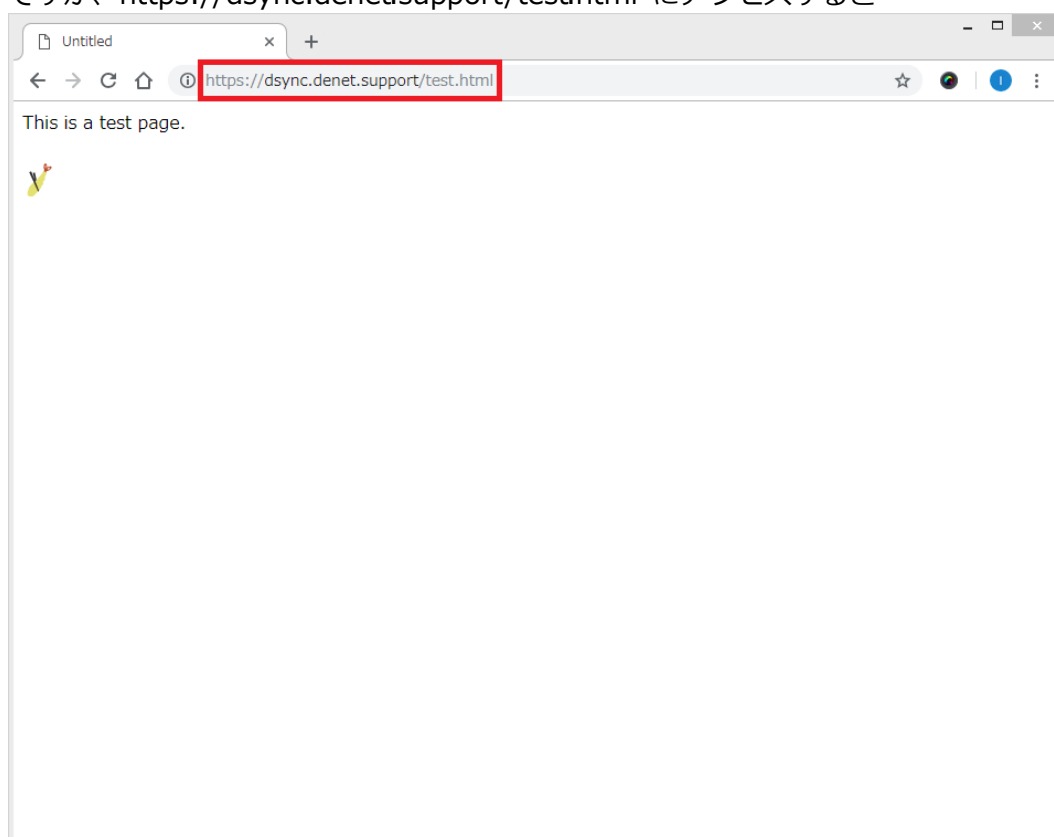
SSL導入後のMixed Content によるエラー対応方法

本ガイドでは SSL 導入後に Mixed Content のため、一部のページで鍵アイコンが表示されず、エラーになる例をご紹介します。今回は「dsync.denet.support」を例にしています。

1.

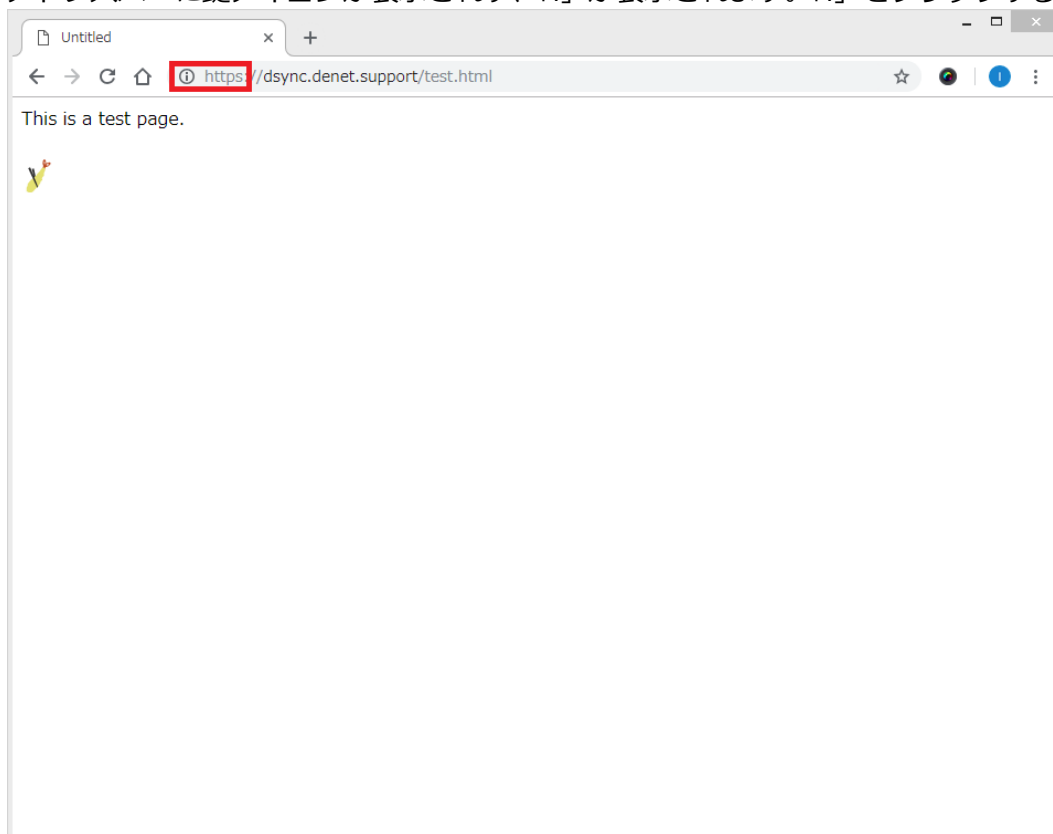
「dsync.denet.support」には SSL 証明書を設置していますので、「dsync.denet.support」以下のページはすべて https で暗号化されることになります。

ですが、<https://dsync.denet.support/test.html> にアクセスすると…



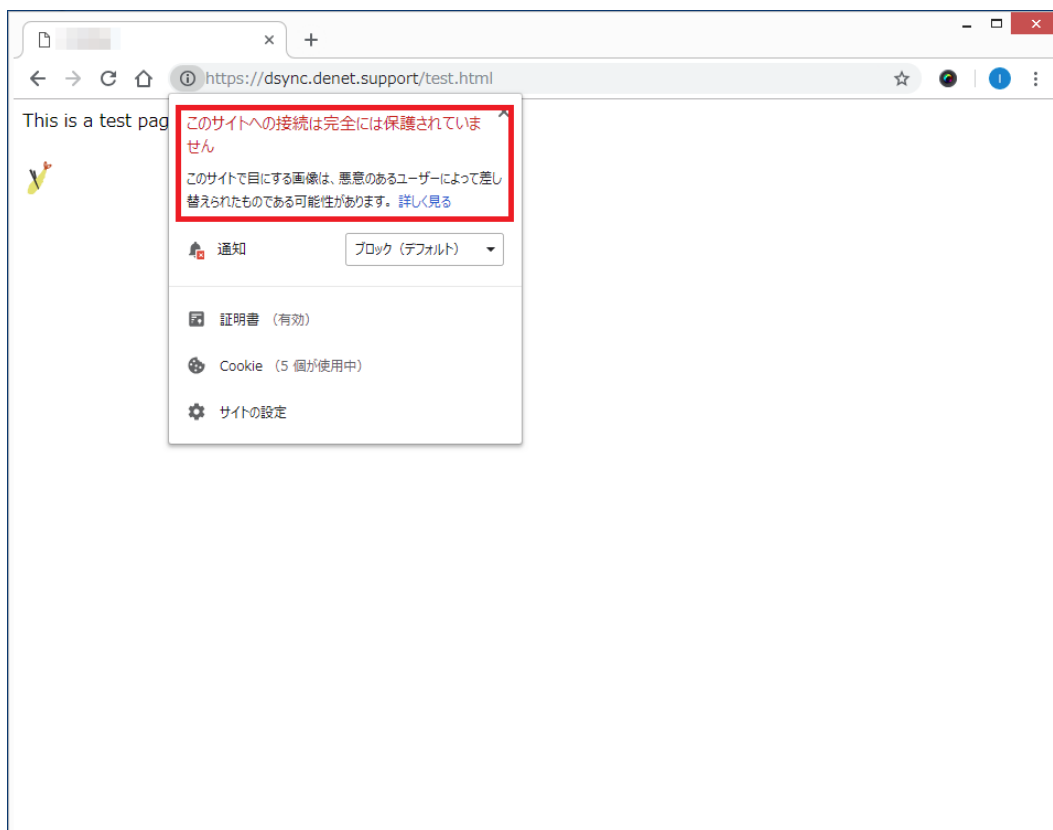
2.

アドレスバーに鍵アイコンが表示されず、「i」が表示されます。「i」をクリックすると



3.

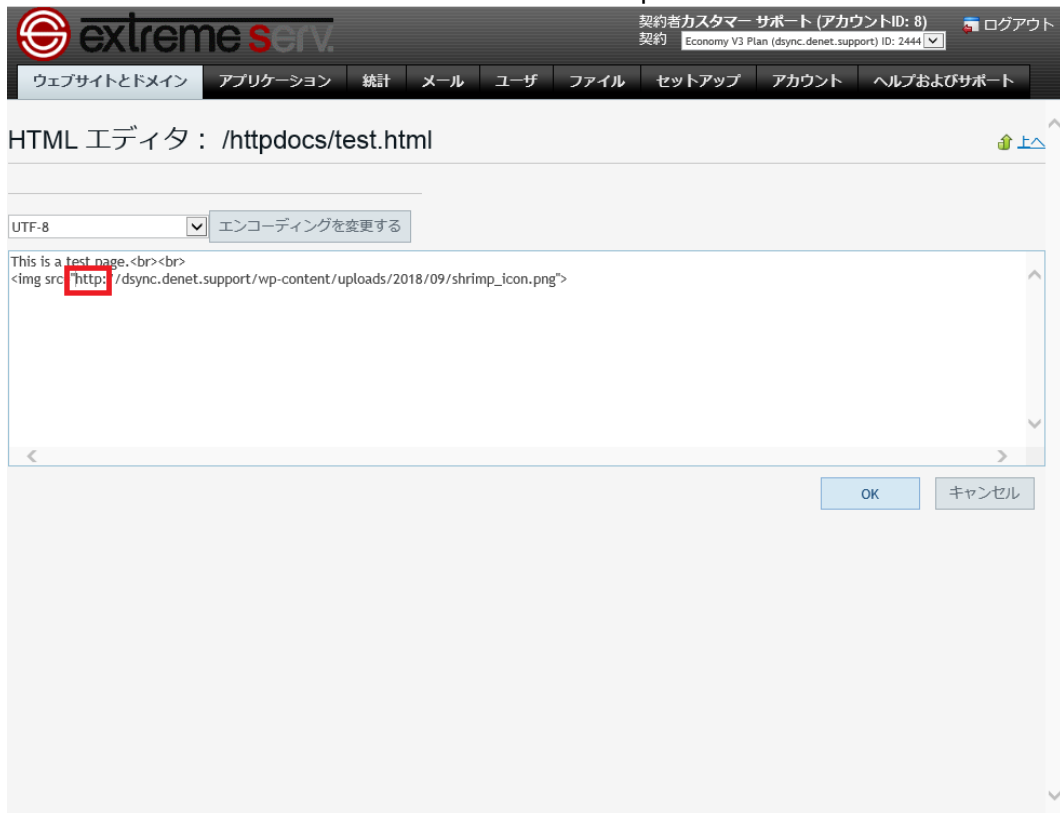
「このサイトへの接続は完全には保護されていません」のメッセージが表示されてしまいました。



3

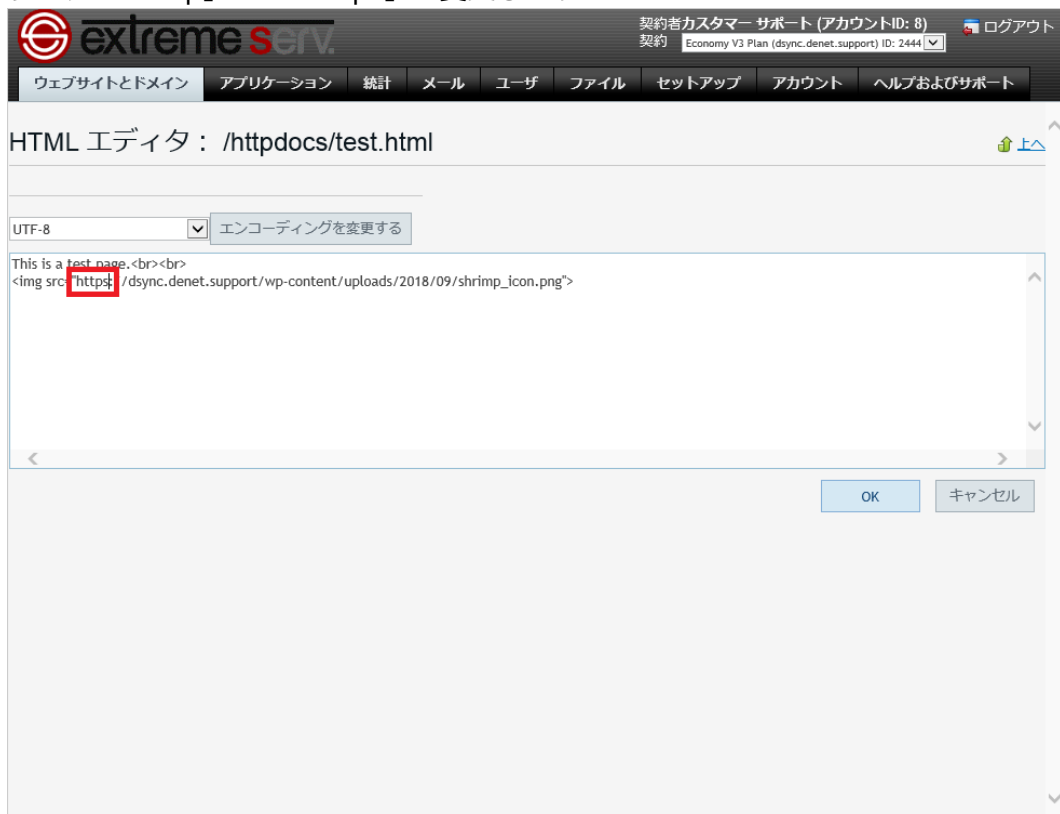
4.

ホームページの中身を確認してみると、一部に http のリンクが存在しました。



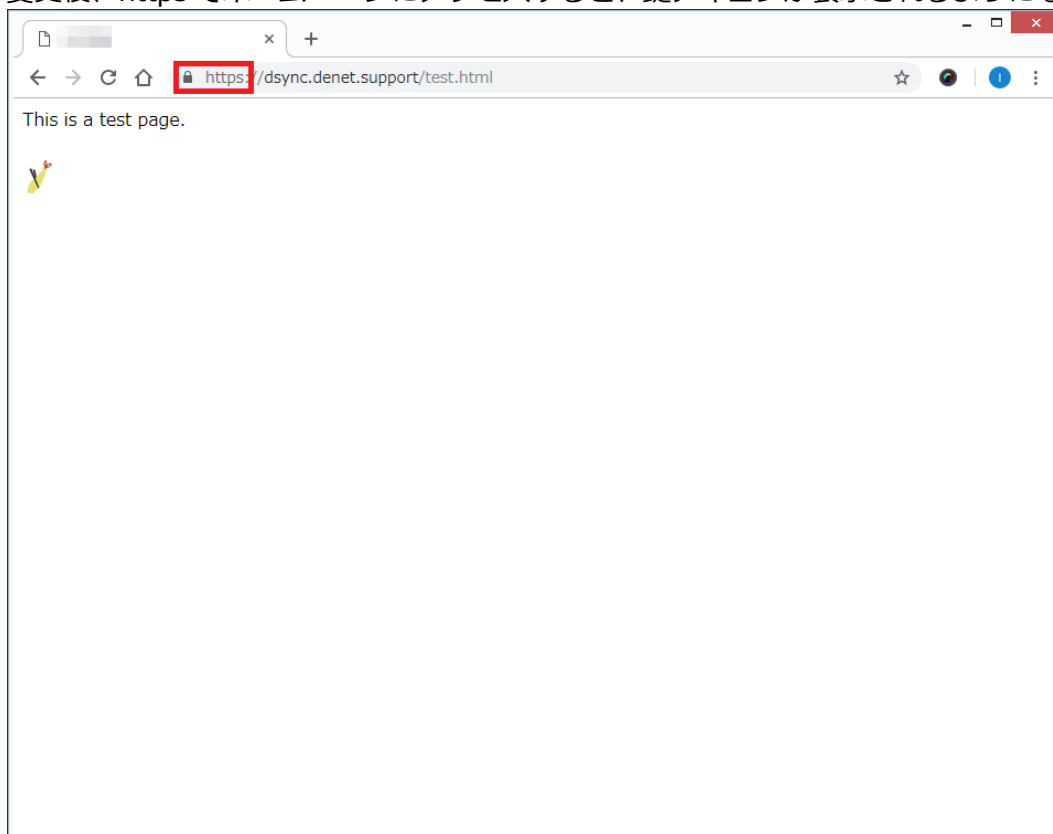
5.

リンクを「http」から「https」に変更します。



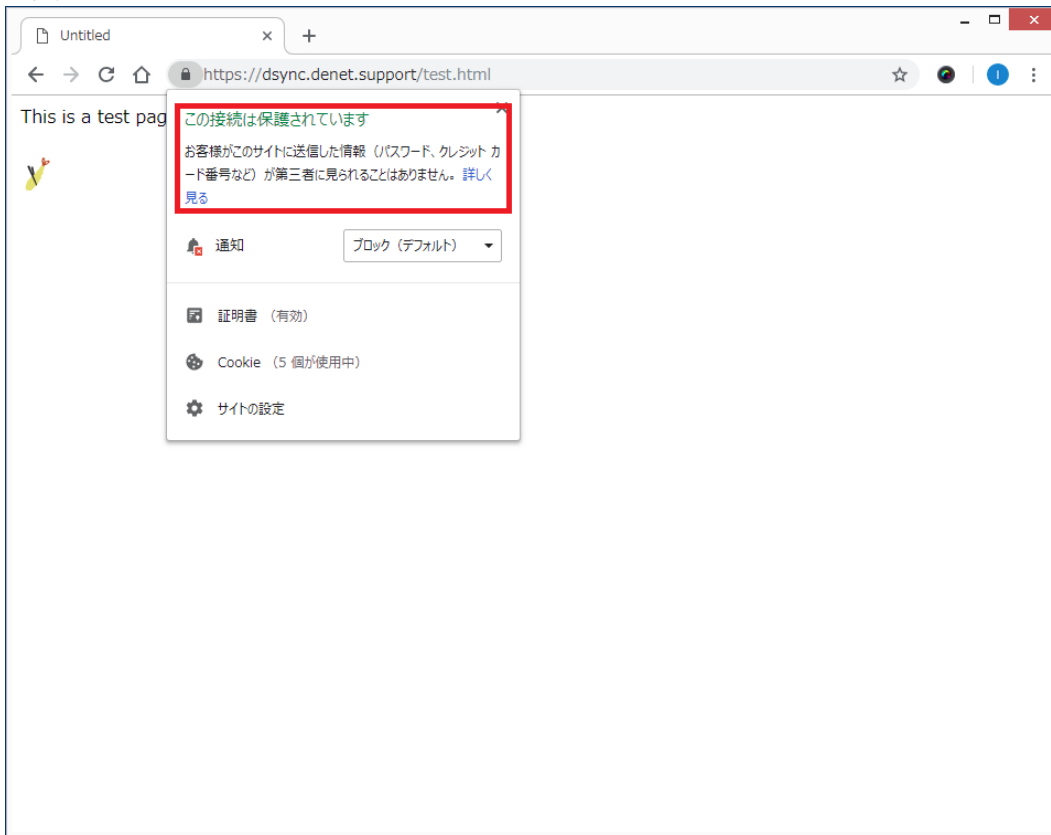
6.

変更後、https でホームページにアクセスすると、鍵アイコンが表示されるようになりました。



7.

鍵アイコンをクリックすると、先程の赤文字のメッセージから緑の「この接続は保護されています」に変わりました。



SSL 証明書を導入したのにすべてのページで鍵アイコンが表示されない場合は今回のようにホームページ内に http のリンクが混在している可能性があります。そんなときはホームページの中身の見直しをおすすめいたします。

【ご注意】

上記は基本的な操作で実際にはお客様のホームページの作り方によって手順は異なります。また、ホームページのディレクトリ構成もお客様ごとに異なりますので、操作の際には十分ご確認くださいませようお願いいたします。